

令和3年12月18日

我孫子市長 星野 順一郎 様

我孫子市総合計画審議会

会長 藤井敬宏

令和元年6月22日付け企画第141号「我孫子市総合計画について(諮問)」により諮問された「1. 第四次総合計画前期基本計画の策定」について、我孫子市総合計画条例第10条の規定により本審議会において慎重に調査及び審議した結果、妥当と判断します。

なお、基本計画における各基本施策の実施にあたっては、下記の事項を十分に踏まえ、基本構想の実現に向け推進されるよう要望します。

#### 記

1. 基本目標1「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」では、市民・地域・行政が連携し、激甚化する災害や新たな感染症などに迅速かつ的確に対応していただきたい。また、子どもたちが安全に生活できるよう、地域の見守りを充実させるとともに通学路をはじめ生活道路の安全対策を進めていただきたい。
2. 基本目標2「誰もが健康で自分らしくともに暮らせるまちづくり」では、地域共生社会を目指すうえで欠かせない、民生委員、児童委員の確保に努めるとともに、高齢化社会の進展に対応できるよう支援の充実を図られたい。
3. 基本目標3「子どもと子育てにあたたかいまちづくり」では、支援を必要とする人が必要な支援を受けられるよう周知を図るとともに、地域資源を活かした郷土愛の醸成に努め、心身ともに健やかな子どもが育つ環境を整備していただきたい。

4. 基本目標4「活力あふれにぎわいのあるまちづくり」では、新たな企業の誘致に積極的に取り組むとともに、あびこの活力の源である中小企業の活性化を進めていただきたい。また、手賀沼をはじめとする自然環境や歴史・文化などの地域資源を活かしたにぎわいづくりに努めるとともに、スポーツや各種イベントなどを通じて交流人口の拡大に向けた取組を進めていただきたい。
5. 基本目標5「快適で住み続けたいくなるまちづくり」では、千葉北西連絡道路の進捗を注視し、まちの活性化につながるよう効果的に幹線道路網の見直しを進めていただきたい。また、公園がより市民の憩いの場として活用されるよう、さまざまな取組を進めていただきたい。
6. 基本目標6「人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり」では、地球規模の温暖化や環境破壊を防ぎ、美しい地球を次世代につないでいくため、カーボンニュートラルの実現や環境負荷低減に向けた取組を市民・事業者・行政が一丸となって進めていただきたい。
7. 基本目標7「人と文化を育むまちづくり」では、市民との協働のほか、事業者との連携などの工夫により鳥の博物館などの充実を図るとともに、あびこならではの歴史・文化を保存し、より一層の活用を進めていただきたい。
8. 基本目標8「誰もが自分らしく輝ける共生社会を目指したまちづくり」では、市民の関心を高め、お互いの違いを認め合い尊重し合える意識を醸成するとともに、多方面との連携に努めていただきたい。
9. すべての基本施策を進める上で、市民・事業者・行政がそれぞれ役割を分担しながらまちづくりを進めるとともに、多様化する市民ニーズに的確に対応した行政運営を推進していただきたい。また、市内外の人に適切な時期に適切な情報を伝え事業の効果を高めるとともに、市の知名度向上とイメージアップ、市民の郷土愛の醸成を図られたい。さらに、財源の確保に努めるとともに事業の選択と集中による効率的・効果的な予算配分を行い、持続可能な行政運営を進めていただきたい。

以上